

都道府県における事後活動組織の活動状況(平成23年度)

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員: 委員、 一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容(200字まで)
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	北海道IYEO	平成23年度 5月28日(土)	和み亭 (会員経営)	会員7名 一般2名		6人	一般の国際交流事業に興味がある方と委員との交流会。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	平成23年度 8月20日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員2名 一般2名		2人	海外経験だけでなく、社会人としての経験なども交えて学生とトークを行うイベント。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	平成23年度 10月22日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員7名 一般6名		6人	海外経験だけでなく、社会人としての経験なども交えて学生とトークを行うイベント。
他団体へ交流事業の参加、協力	中日友好国際映画祭事務局	10月24日(月)~ 27日(木)	札幌シネマフロンティア 札幌グランドホテル	会員 2名			中日友好国際映画祭が初めて北海道でも開催されることになり、当日運営や中国人監督・俳優との交流のためのボランティアに会員が参加。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	11月12日(土)	札幌エルプラザ	会員 5名 一般 11名(4名)	4人	7人	北海道大学の中国人留学生といっしょにキョウガや中華料理を作りながら、中国のことや国際交流についてトーク。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	12月17日(土)	Cafe&Bar ROGA	会員 6名 一般 5名		5人	大学生と海外経験豊富な人などがつながる機会をつくるイベント。国際交流経験・社会経験の豊富なゲストを招き、札幌駅近のカフェでトーク。
他団体へ交流事業の参加、協力	北海道高等学校 ユネスコ連絡協議会	1月9日(月)	札幌観光プラザ 製菓専門学校	会員 2名			「大学生が高校生に伝える国際交流」という分科会にて、北海道IYEO会長の講師を務めた。大学生の代表として、今年度からの新会員が参加。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	1月21日(土)	札幌若者支援 総合センター	会員 4名 一般 4名(1名)	1人	3人	青年海外協力隊でマダガスカルに滞在されていた日本人とマダガスカル人の夫人を講師に迎え、マダガスカル料理を備いながら現地での暮らしなどの話を聞いた。
他団体へ交流事業の参加、協力	北海道国際交流センター (HIF)	2月12日(日)	函館市青年センター	会員 1名 一般 12名		12人	北海道国際交流センター(HIF)主催の国際交流プログラム紹介のイベントにおいて、内閣府青年国際交流事業の紹介をさせていただいた。
独自の国際交流事業	北海道IYEO	2月18日(土)	Cafe&Bar ROGA				大学生と海外経験豊富な人などがつながる機会をつくるイベント。国際交流経験・社会経験の豊富なゲストを招き、札幌駅近のカフェでトーク。
その他	NPO法人ハロー・ドリーム 実行委員会	1月21日	文化観光交流施設 ふぶのの家「フ・ラッセ」 多目的室(2)	55人		55人	家庭や職場でお互いの笑顔を引き出し、関係を良くするコミュニケーションの方法を紹介する体験型の講座です。(SWY8NL 本間正人 講師)
独自国際交流活動	岩手県青年国際交流機構	8月1日(月)	盛岡市中央通	40名 (うち一般33名うち外国人1名)	1人	2人	震災支援活動の一環である賛切バスツアーに組み込んだ活動。盛岡市の夏祭りふぶの家の参加。
他団体へ交流事業の参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	9月4日(日)	岩手県青少年会館	4名(うち一般2名)	2人	2人	親子ふれあい広場「観武が原まつり」への参加、協力。
他団体へ交流事業の参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	10月8日(土)	岩手山青少年交流の家	2名			岩手県青年国際交流機構の活動報告。
その他	岩手県青年国際交流機構	3月14日(月)~	都度	都度			3月11日の東日本大震災に関する支援活動(炊き出し、支援物資調達・配布、清掃、IYEO相談カフェ、田野畑村支援活動)
その他	岩手IYEO	10/15, 11/12, 12/10, 12/11	陸前高田市、大船渡市、盛岡市、田野畑村(のべ6か所)	会員のべ22名			心のゆとり時間・空間、語りの場の提供として6月から実施し現在まで計18回(内3回は他団体と連携)。今後は現地の方々や他団体と連携し、支援から協働へと展開する。
その他	いわて県民情報交流センター	10月22日(土)	盛岡市 アイーナ	会員4名 (一般来場500名)		500人	パパーに出演(全3回)、売り上げの一部は支援金として寄付、一部は活動資金とする。
事業報告、説明、及び他団体の交流事業への参加、協力	(財)岩手県青少年会館	平成23年2月10日	岩手県青少年会館	会員3名 (参加者約70名)		70人	県内で活動する青少年団体会し、活動報告および情報交換を行い、青少年活動の活性化、協力体制の強化への糸口を探る。知事を開会しての親睦会を交流する。
青少年国際交流を考える集い	及川留太郎ブロック監事	(予定)平成24年2月18 ~19日	塩釜	約30名			ブロック内での情報交換、および活動の推進、連携強化、親睦をはかる。
独自の国際交流事業	岩手IYEO	(予定) 平成24年3月10日	盛岡市 アイーナ	(見込み)会員一般 計50名(うち外国人4名)	4人	46人	県内在住市民、外国人を招き、交流と相互理解、ネットワークの構築を図る。また、機構の広報にもつなげる。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	3月19日	浦戸諸島桂島① (避難所約200名)	会員 1名			支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月26日	社会福祉法人聖特会 共生型グループホームさくら おか	会員 2名、一般2名		2人	支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月27日	浦戸諸島桂島②	会員 1名			支援物資届けた(SWY13メンバー-全国IYEO会員の協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月28日	NPO法人自閉症ピアリング センター 「ここねっと」	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	3月31日	浦戸諸島桂島③	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月31日	石巻市立病院①	会員5名、一般3名		3人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月3日	石巻市立病院② 石巻市内施設避難所 南三陸町再発外泊ボランティア センター	会員3名、山形IYEO2名、一般2名		2人	IYEOより支援物資を転送もらう。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月10日	石巻市立病院③ 石巻市立避難所	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月16日	石巻市立病院④	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	一般社団法人浦戸夢の愛ランド	4月17日	浦戸諸島桂島④	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月23日	浦戸諸島桂島⑤	会員1名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	4月24日	浦戸諸島桂島⑤	会員1名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなびのたねネットワーク	4月29日	浦戸諸島桂島⑥	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月1日	石巻市立病院⑥	会員 1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月7日	石巻市立病院⑦	会員1名、一般2名		2人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月15日	石巻市立病院⑧	会員3名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月19日	女川町立女川第二小学校	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月28日	石巻市立病院⑨	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	5月31日	女川町立女川第二小学校	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月4日	石巻市立病院⑩	会員 1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなびのたねネットワーク	6月5日	浦戸諸島桂島⑦	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月8日	石巻市立病院⑪	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月11日	石巻市立病院⑫	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなびのたねネットワーク	6月13日	浦戸諸島桂島⑧	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月18日	石巻市立病院⑬	会員1名、岩手IYEO1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	6月19日	宮城県青年会館	会員2名			宮城青年会議の総会に参加した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月22日	石巻市立病院⑭	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	6月26日	石巻市立病院⑮	会員2名、山形IYEO1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	6月29日	浦戸諸島桂島⑨	会員1名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	7月13日	浦戸諸島桂島⑩	会員1名、一般1名		1人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	7月26日	石巻市立病院⑯	会員2名、一般2名		4人	支援物資届けた(IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	7月30日 ~31日	石巻市立病院⑰	会員3名、山形IYEO3名、一般42名		40人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEO&大阪IYEOより支援金)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	8月6日 ~7日	石巻市立病院⑱	会員3名、山形IYEO3名、一般40名		40人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEO&大阪IYEOより支援金)。
東日本大震災復興支援	浦戸桂島復興実行委員会	8月13日 ~14日	浦戸諸島桂島⑩	会員1名、三重IYEO1名、一般16名		16人	復興実行委員会を主催し、学生ボランティアをつないだ。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	8月27日	宮城県青年会館	会員2名			宮城青年会議の今後の在り方を話し合った。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	9月10日	石巻市立病院⑲	会員2名			支援物資届けた(IYEOの協力)。
他団体へ交流事業参加・協力	青少年のための宮城県民会議	9月21日	仙台市立東華中学校	会員1名			宮城県少年の主張の審査員をした。
東日本大震災復興支援	NPO法人まなびのたねネットワーク	9月25日	浦戸諸島桂島⑪	会員1名、一般3名、外国人5名	5人	3人	会員の紹介で、タイIYEOの研究者、実践者を紹介した。島内視察を行った。
他団体へ交流事業参加・協力	山形県青年国際交流機構	10月15日~16日	山形県米沢市	会員4名、一般4名		4人	ブロック大会に参加し、復興支援活動を報告した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	10月22日	石巻市内	会員2名、東京IYEO1名			物資届けた。東京IYEO会員(SWY24NL)を被災地を案内した。
他団体へ交流事業参加・協力	宮城青年会議	11月10日	福島県飯野町(飯館村仮 仮設)	会員3名、SWY24参加者1名、一般14名		14人	飯館村菅野村長の講演を聞きに行く。IYEO会員佐藤潤一さんと会う。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	11月12日	石巻市内	会員2名、茨城IYEO1名、山形IYEO1名			支援物資届けた(埼玉IYEOの協力)。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	11月13日	浦戸諸島桂島⑪	会員2名、山形IYEO1名			被災地を案内した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	1月6日	石巻市立病院⑳	仮設住宅	会員2名		支援物資届けた。仮設住宅での健康相談会の活動を見学した。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城青年会議	2月4日	市民会館	会員1名			宮城県内の青年団体連携の在り方を考える会に参加した。
東日本大震災復興支援	宮城青年国際交流機構	3月17-18日	山形県米沢市	宮城県員3名、山形県員3名、一般被災者25名		25人	「ワンコングレ」を実施した。石巻市立病院、牡鹿病院、雄勝病院のスタッフと家族を米沢市白布温泉へ連れていった。(山形IYEOの全面協力、IYEOより支援金)。
その他	山形県IYEO	平成23年4月9日 (土)	宮城県亶理町	IYEO会員2名			亶理町へ支援物資運搬
その他	山形県IYEO	平成23年4月10日 (日)	宮城県石巻市	IYEO会員2名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月16日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員2名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月23日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員1名			石巻市立病院へ食糧支援
その他	山形県IYEO	平成23年4月24日 (日)	宮城県塩竈市 浦戸桂島	IYEO会員1名			塩竈市浦戸桂島へ食糧支援(支援集会に参加)
その他	山形県IYEO	平成23年6月11日 (土)	宮城県石巻市	IYEO会員1名			石巻市立病院へ支援物資 石巻市門脇中学校で児童と交流 石巻市浅小小学校で児童と交流
その他	山形県IYEO	平成23年6月17日 (金)	福島県	IYEO会員1名			被災者向けBBQ大会への食事提供

その他	山形県IYEO	平成23年7月2日(土)	岩手県田代野畑村	IYEO会員1名			田代野畑村応援プロジェクトへの参加。食糧支援。
その他	山形県IYEO	平成23年7月30日(土)・31日(日)	山形県米沢市	IYEO会員2名			石巻被災者米沢市への協力
その他	山形県IYEO	平成23年8月5日(金)・6日(土)	山形県米沢市	IYEO会員2名			石巻被災者米沢市への協力
他団体の交流事業への参加、協力	山形県IYEO、ふくしま子どもの日本語ネットワーク、日本国際児童図書評議会(JBBY)、東北こども支援プロジェクト	10月10日(月・祝)	米沢市 置賜総合文化センター、北村公園	IYEO会員5人 一般70名 (うち外国人31人)	31人	39人	主に福島の方を中心として、日本に住む日本語を母語としない子どもたちと、そいった子どもと仲よくなりたい日本人子どもたちを対象にグループでの音読体験及び手書き。
青少年国際交流を考える集い	内閣府、IYEO、推進センター、山形県IYEO	10月15日(土)～16日(日)	米沢市 小野川温泉 河鹿荘	58人			「なぜばなな 未来への絆 今、自分たちができること ～愛と義のまち”米沢からの発信～」をテーマに、被災者支援に取り組むボランティア団体やIYEOの活動事例を紹介、参加者同士がお互いの地域での活動等を共有することを通じて、国際交流活動等において、参加者自身それぞれが「何が出来るか」「何をしたいか」を考えたい。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	1月20日(金)～23日(月)	庄内町	IYEO会員9人			第24回世界青年の船地方プログラムで、エジプトとベネズエラの青年計21人を受入れた。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 (3月23日・26日・31日)・ 4月7日・12日・20日	送付先:いわき市NPO法人 ザ・ピープル	会員:3人			福島市の地域住民から提供されたものや購入した支援物資を、日ごから協会と交流のあいなわき市のNPO法人「ザ・ピープル」さんをおしていわき市の避難所に提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 (3月23日)・ 4月2日(土)	提供先:福島県立明成高校 避難所(福島市)、東和町の避難所	会員:2人			IYEO本部の皆さんのご協力により、全国の会員の皆さんからも直接、いわき市にた(ん)の支援物資を送っていただいた。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月9日(土)	提供先: 相馬市原釜幼稚園、 新地町教育委員会	会員:2人			各避難所が必要なものを開き取り、購入して持参。東和町の避難所が必要とされていた体温計と血圧計の不足分は、メーカーの情報を避難所に提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月10日	飯館村、二本松市	会員:2名 IYEO本部役員:2名			原釜幼稚園からの支援要請を受けて、必要な物資を提供。相馬市の北隣の新地町も、津波の被害が甚大で、学校や町役場自体も被災し、必要な学用品を教育委員会に提供した。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年 4月18日・25日・ 5月5日・12日	福島市立飯坂小学校 相馬市立中村第二小学校	会員:2人			放射能の被害が大きくなり、全村避難となった飯館村を心配し、IYEOの役員の皆さんが来福した。そのお礼として、お菓子の贈呈を行った。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月21日(木)	福島市立清明小学校	会員:1人			学校及び被災された方から必要な物資を開き取り、IYEOネット及び文部科学省の子ども学び支援ポータルサイトの協力を得て、物資を集めて提供。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年4月16日、21日、30日、5月4日、9日、20日、25日、31日、6月4日、6日、17日、18日、7月2日、17日、20日、24日、8月4日、18日、25日	あづま総合運動公園避難所(福島市)	会員:4人 一般:毎回平均10人		数十名	週に1回の割合で、避難所にいる約700人に副食を提供。私たちが日ごろ行っている国際交流の経験を活かし人間関係作りを努め、被災された方と一緒に炊きしめることによって、よりきめ細い支援活動ができるように心がけた。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年6月17日、7月19日、7月21日、9月17日	あづま総合運動公園避難所(福島市)、福島市立第四小学校、福島市立湯野小学校、会津若松市北公民館	会員:1人			大阪府青年国際交流機構さんから頂いたメッセージ入りのうちわを避難所、小学校、震災復興イベント会場で配布。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	平成23年6月28日 販売及び雑巾縫いは随時	あづま総合運動公園(福島市)、南相馬市、福島市	会員:1名 一般:20名		20人	全国からいただいたタオルを、被災者の皆さんに雑巾にしていた販売。6月28日、あづま総合運動公園内の避難所(福島市)の皆さんと初めて雑巾を縫った。現在は雑巾を買い取り、現金収入にしている。小学生や中学生が学校に持っていき雑巾のサイズに作り、2枚100円以上で販売し。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)		平成23年10月10日(月)	いわき市	会員:1名 一般:5名		5人	本年度の東南アジア青年の船の参加青年2名が、ナショナルプレゼンテーションで東日本大震災をテーマに発表するために、被災地の若者にインタビューを実施した。そのインタビューの設定及び案内をした。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	10月26日(水)～31日(月) (5泊6日)	大森小学校、渡利小学校、福島大学、立子山自然の家(福島市)	スタッフ:会員7人、一般:23人(外国人13人)、参加者:一般20(外国人3人)、 大森小学校児童370人、渡利小学校児童120人		16人	福島県内の児童生徒学生に、多様な文化、多様な価値観を体験する機会を提供することを目的に、10カ国10名の外国青年とともに、小学校2校×国際理解講座と福島大学で相互理解のディスカッションを実施。宿泊による共同作業を通して意見交換及び交流。ホームステイ
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成23年12月4日(日)	福島市杉妻学習センター(福島市)	会員:5人、 一般:2人		2人	向窓会組織でもある船と翼の会ふくしまの持つリソースや強みを活かして、どんな社会貢献ができるのかを話し合った。国際交流活動を通して抱いたさまざまな夢のために、仲間が集まってネットワークを作れば、不可能なミッションも可能になることを信じ、「カールーンの児童福祉施設の支援をIYEOやカールーンの同意会組織のネットワークを使って行いたい」という一會員の夢に、私たちがどのように応援できるかを、具体的な事例として考えました。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク(福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松)	平成23年12月10日(土)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員1人 全体参加者:100人		99人	交流会場で、当会及び内閣府の事業を紹介するブースを出展。国際交流に関心の高い参加者たちによるPR及び次年度以降の派遣事業への参加者を募った。
独自の交流事業 (震災復興支援事業)	船と翼の会ふくしま	随時継続中	雑巾買取:福島市、南相馬市、三春町 雑巾販売:山形県米沢市、和歌山県、福島市他	-			全国からいただいたタオルを、被災者の皆さんに雑巾を作ってもらい、2枚100円以上で販売。以前炊き出しの支援で知り合い、現在は南相馬市、三春町、福島市の借上げ住宅や仮設住宅にお住まいの方に製作を依頼し、買い取り販売している。IYEOプロック大会、全国大会、各県IYEO、福島市内NGO事務所等で販売に協力して関わっている。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成23年10月15日 ～現在継続中	-	会員:5人 一般:多数		多数	福島・タイ交流プログラムでお世話になっているASSEAY Thailandに福島からエールを送りたいと思い、募金活動を実施。来年度「夢企画～福島・タイ交流プログラム」で直接タイのメンバーに贈呈予定。募金目標金額100,000円。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしまASSEAY Thailand	通年	福島県内 及びタイ国内	-			福島県内のNGO「明るい社会づくり運動協議会」「ふくしま地球市民ネットワーク」や県内の小学校の協力のもと、使い終わった小学1年生の黄色い帽子を回収し、タイの小学生に贈呈する事業。協力各校で、黄色い帽子を回収してもらった。児童のボランティア活動として児童主体で帽子を回収した学校もあった。
内閣府青年国際交流事業 の地方プログラム受入	内閣府	平成23年10月27日(木)～30日(日)	栃木県公館、栃木県庁、コンセール、宇都宮大学、宇都宮グランドホテル	会員:9名 一般:61名		61人	東南アジア青年の船地方プログラム受入に際して、栃木県庁表敬訪問、地元青年との交流ディスカッション、歓迎レセプション及び2泊3日のホームステイを行った。
青少年国際交流を考える集い		1月14日(日)～15日(日)	伊香保町	9人、1人		1人	大会当日
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	6月22日	県北浦和庁舎	会員:1名			昨年度の活動報告、意見交換等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	いきいき埼玉	7月14日	埼玉県県民活動総合センター	会員:1名			昨年度の活動報告、意見交換等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	10月12日	県北浦和庁舎	会員:1名			加盟団体の活動報告、意見交換等を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉連	1月25日	県北浦和庁舎	会員:1名			研修会に向けた最終打ち合わせ。来年度の活動に向けた活動確認
#REF!	埼玉県青少年団体連絡協議会	2月4日	浦和ワシントンホテル	会員3			研修会及び交流会。12団体の活動紹介あり。
その他	千葉・埼玉IYEO有志	平成23年5月7日	都立夢の島公園 パーバキューバー	103人(内訳不明)			東日本大震災被災地支援のためのチャリティパーバキュー
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成23年9月3日(土)	お茶ノ水・スクール・オブ・ビジネス	会員:27名(うち外国人1名) 一般:7名(うち外国人4名)	4人	3人	会員のための英語ディスカッション講座。外国人5名を含む34名が参加。講師は世界船17回サミルの村本由香さんとそのパートナーのロイスさん、「異文化理解」をテーマにディスカッションを行いました。「文化とは何か?」という基本的な内容から、外国人向きの異文化理解を第三者の日本人としてどう見えるか? (例: 購入の中国人とインド人のカールの違い) に対するトランプの記事に對し日本人としてどう見えるか? など、より専門的なディスカッションを英語で行った。既参加青年より最後にこれからは事業に臨む人に向けたワンポイントアドバイスをしてもらった。
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成23年10月15日(土)	お茶ノ水・スクール・オブ・ビジネス	会員:15名(うち外国人1名)		1人	会員のための英語ディスカッション講座。講師はDamon Irvineさん(第11・17回(NL)世界船)、テーマは「幸せって何?」でした。まずはアイスブレイクで緊張をほぐし、小グループを作ってディスカッション。幸せの物差しについてあらためて考えた。既参加青年より最後にこれからは事業に臨む人に向けたワンポイントアドバイスをしてもらった。
事業報告会及び説明会 独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成24年2月18日(土)	青少年国際交流推進センター 会議室				
その他	東京都青年国際交流事業	通年を通して					「東京と被災地」をつなぐプロジェクト 東京都IYEOが開催するイベントに参加される方の参加費から毎回一人につきTokyoの「To」にちなんで200円をIYEO募金に寄付します。

独自の国際交流事業、広報	神奈川IYEO	H23年6月26日(日)	川崎市国際交流センター	会員8名、一般2名	2人	今般の東日本大震災発生を受けて、IYEO本部や被災3県IYEOの支援活動への取り組みについて報告し、神奈川IYEOとして今後どのような支援を行うかを検討する機会を設け、開催した。また、社団法人に新人さんたちへ茶道指導をお願いしている方の「カナダプロジェクト」や、その活動の一環として被災地訪問・支援活動の実績報告を頂き、今後の神奈川IYEOの取り組みを報告した。	
他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	(財)川崎市国際交流協会、民間交流団体連絡協議会、(神奈川IYEO)	H23年7月3日(日)	川崎市国際交流センター	推計2,800名以上(根拠:主催者発表来場者数14,000名X20%以上)	2,800人	川崎市国際交流センターにて開催された『2011インターナショナル・フェスティバル』に参加し、例年通り参加した。写真展と併せて、各事業報告書冊子や活動記録冊子1冊の閲覧による広報宣伝も行った。また今年は、館内ミニステージにて「ミニ帰国報告発表」を行うことにより、目と耳の両面から事業の広報を行ってきた。	
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	横浜YMCA、神奈川IYEO	H23年8月3日(水)	横浜YMCA学院専門学校日本語学科	会員2名、外国人生徒12名、講師・職員4名	12人	4人	横浜YMCAさんとの良好な協力関係のなかで、今年度もYMCA側から『日本伝統文化体験講座』を行うことになり、三役が出向いて「折り紙講習」を実施した。この成果により、今年度後半YMCAと共催で『多文化共生プログラムの開催予定に繋がった。』
参加希望者への支援、独自の国際交流事業	神奈川IYEO	H23年8月7日(日)	横浜市青少年交流センター	合格者内定者11名、会員3名、茶道協力者9名	20人	IYEO交流の場で役立つ学びの企画として昨年度同様『日本伝統文化体験事前研修』、小学校で「ボランティア茶道体験・茶道指導」を行っている茶道教授(マナー講師は多彩な活動をされている方)にお申し込み開催した。第二次選考合格者が小学生によるお点前にて正式な形に近いお茶会体験を行う場によって、日本代表として刺激を受けてもらい、参加意欲を増進させる意図は成功したと思う。	
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加・協力	横浜YMCA、神奈川IYEO	12月6日(火)	横浜YMCA学院専門学校日本語学科	会員2名、外国人生徒6名、講師・職員4名	6人	4人	横浜YMCAさんから『日本伝統文化体験講座』を行って欲しい旨の打診があり、書道体験を行った。時間的に、準備にて年賀状作成講座を開催し、少しでも日本の文化に親しんでいただけたと思う。
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加・協力、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川IYEO、横浜YMCA(共催)	12月17日(土)	横浜市青少年交流センター	会員5名、外国人生徒1名、日本人1名、講師・職員1名	1人	2人	横浜YMCAさんから『日本伝統文化体験講座』を行って欲しい旨の打診があり、茶道体験と横浜歴史ウォークを行った。
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加・協力、及び内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	神奈川IYEO、横浜YMCA(共催)	平成24年2月19日(日)(予定)	北鎌倉浄智寺及び鎌倉市内	募集30名、うち外国人:10名程度(予定)	10人(予定)	横浜YMCA日本語留学生及びIYEOに通う日本人を対象の企画に、今年も協力を依頼された。昨年同様浄智寺ご住職へ依頼し、午前中に座禅体験を実施。お弁当を摂り、午後はグループに分かれ、鎌倉七福神巡りを行いながら問題に解答し、外国の方及び鎌倉市以外の方が、歴史あるまち鎌倉の良さを理解していただく予定。	
独自の国際交流事業、他団体の交流事業への参加・協力	横浜YMCA、神奈川IYEO	平成24年2月27日(月)(予定)	横浜YMCA学院専門学校日本語学科	会員2名、外国人生徒15名、講師・職員4名(予定)	15人(予定)	4人	横浜YMCAさんから『日本伝統文化体験講座』を行って欲しい旨の打診があり、今年度最終回は折り紙体験を行うこととした。来年度からは年間計画を組んでもらえる予定。
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受入	山梨県IYEO	1月20日(金)	石原農園 山梨県庁山梨県立博物館	実行委員:7名、ホストファミリー22名、県庁5名、一般10名	10人	世界船(カナダ・スペイン)受け入れ。(エコファーマー体験、施設参観、表敬訪問、交歓会)	
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受入	山梨県IYEO	1月22日(日)	甲府市サイクルプラザ	実行委員:10名 ローカユース:39名 NPO:6名 県:2名	45人	世界船(カナダ・スペイン)受け入れ。(NPOみどりの学校による環境学習会、交流ディスカッション)	
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受入	山梨県IYEO	1月23日(月)	山梨英和幼稚園	実行委員:8名 幼稚園:90名 県:2名	90人	世界船(カナダ・スペイン)受け入れ。幼児教育施設訪問(交流会、餅つき、ランチなど)、見送り)	
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受入	東南アジア青年の船事業地方プログラム新潟県受入実行委員会	10月27~30日	新潟市内	会員7名、一般20	20人	平成23年度東南アジア青年の船事業地方プログラムを実行委員として参加した。また、ローカユース参加者を次の参加青年にするべく、広報活動を行った。	
青少年国際交流を考える集い	富山県IYEO	平成23年10月1日(土)~2日(日)	富山観光ホテル	78名(10名)	10人	北信越ブロック大会富山大会を開催した。	
広報、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動、他団体の交流事業への参加、協力	国際交流フェスティバル2011 in Toyama 実行委員会	平成23年11月12日(土)~13日(日)	富山市国際交流センター&CICビル	—	—	国際交流フェスティバルにてブースを出展し活動・事業紹介を行った。	
事業報告会及び説明会、独自の国際交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県IYEO	平成24年3月18日(日) 10:00~15:00	富山県民会館	—	—	平成24年度事業説明会。料理交流会では富山在住の外国の方々を迎え料理を作りながら交流する。	
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入	東南アジア青年の船受入実行委員会	平成23年10月27日(木)~30日(日)	石川県内	参加青年:29名 一般:27	27人	平成23年度東南アジア青年の船の地方プログラム受入を行った。	
他団体への交流事業への参加、協力	福井県青少年団体連絡協議会	5月9日(月)	AOSSA	会員2名(各団体代表者8名)	8人	福井県下の各青少年団体が所属する連絡協議会にて、連携について確認し、昨年度を振り返り、今年度の方針を決定した。	
第24回 平成23年度世界青年の船事業 福井プログラム	世界青年の船受入実行委員会	1月20日(金)~23日(月)	福井県庁、パートナーホテル、福井県医療福祉専門学校、清明公民	福井県6名、実行委員10名、同行者3名、その他スタッフ20名、海外青年22名	—	平成23年度第24回世界青年の船事業福井プログラムの実施	
他団体の交流事業への参加、協力	善光寺花回廊実行委員会	平成23年5月1日(日)~4日(水)	長野市中央通り	12名	—	まちづくりの一環として行われている、長野市の花回廊実行委員会主催「チューリップの花びらで飾る花キャンパス」にチームで参加した。デザインはマレーシアに在住の元留学生に頼み、メールにて受注した。タトル「がんばれ日本」	
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成23年6月24日(金)	チャゴン	10名(1名)	1人	会員であるベトナム留学生ジャソンファンさんを講師に、ベトナムの民族衣装の歴史や歴史、現在の社会状況などをベトナム料理を兼ねながら学んだ。	
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成23年7月3日(日)	信州大学工学部体育館	20名(留学生10名)	10人	10人	信州大学工学部留学生と共にバトミントンによりスポーツ交流をし、その後参加者による懇話会を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	ながのびんずる祭り実行委員会	平成23年8月6日(土)	長野市中央通り	6名	—	外国籍の人や国際交流団体が登録する「国際連」に入り、会員と一緒に踊り、長野IYEOをPRした。	
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	東南アジア青年の船 受入実行委員会	平成23年10月27日(木)~30日(日)	長野県内	—	—	平成23年度東南アジア青年の船の地方プログラム受入を行った。	
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入	東南アジア青年の船 受入実行委員会	10月27日(木)~30日(日)	長野県内	18名(4名)	14人	平成23年度東南アジア青年の船の地方プログラム受入を行った。	
他団体の交流事業への参加、協力	信州大学工学部留学生会	12月6日(火)	信州大学工学部	1名	—	信州大学工学部留学生の支援団体と留学生の交流会に参加した。	
独自の交流事業・内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	長野県青年国際交流機構	12月21日(水)・平成24年1月12日(木)・2月8日(木)・2月下旬	長野市	5名(1名)	1人	内閣府青年国差交流事業募集期間中に合わせ、帰国報告会、募集説明、講演会・学習会を企画打ち合わせを実施した。	
内閣府青年国際交流事業	岐阜県IYEO	11月13日(日)~16日(水)	岐阜県内	60名(うち30名)	30人	日本・中国青年親善交流受け入れプログラム実施	
独自の国際交流事業	岐阜県IYEO	11月30日(水)	八百津小学校	2名、一般30名	30人	八百津町は杉原千畝氏の誕生地であるため、氏の行動を劇にし小学生が演じるなどの教育も行っている。今回は杉原氏と関係の深いリトニアの方を講師として招き、小学生に向けてリトニアの紹介をしていただいた。	
他団体の交流事業への参加、協力	(財)アジア保健研修所	平成23年10月10日	(財)アジア保健研修所	1000名・11名	—	広く国際交流活動及び韓国受入に際してポラ青年を募集するため飲食ブースを出展しました。	
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動、他団体の交流事業への参加、協力	(財)アジア保健研修所	平成23年10月10日	(財)アジア保健研修所	1000名・11名	—	広く国際交流活動及び韓国受入に際してポラ青年を募集するため飲食ブースを出展しました。	
青少年国際交流を考える集い(全国大会含む)	愛知県IYEO	平成23年12月18日	名城大学駅サテライト	29名・10名、19名(1名)	1人	18人	高校生に向けて、国際交流の入り口を案内すべく、ワークショップを行った。
青少年国際交流を考える集い(全国大会含む)	三重県IYEO	平成23年6月25日(土)~26日(日)	(財)伊勢神宮崇徳会 神宮会館	会員11名 一般30名(うち外国人1名)	1人	29人	「ふるさと~受け継いでいくもの、新しく生まれるもの」をテーマに、受け継いで伝えていくものは何か、そしてそれをどう発展的に具体的な活動に繋げることができるかについて考えた。
青少年国際交流を考える集い(全国大会含む)	山形県IYEO	平成23年10月15日(土)~16日(日)	小野川温泉 河鹿荘	会員1名	—	東日本大震災における被災者支援に絡むボランティア団体やIYEOの活動事例から、「自分たちができること」について意見交換を行った。	
他団体の交流事業への参加、協力	みえ市民活動ボランティアセンター	12月11日(日) 10時~16時30分	みえ県民交流センター	会員3名	—	三重県で活動する複数の国際交流団体が作り上げているイベントに参加。会員01名が自身の活動を報告した。	
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動他団体の交流事業への参加、協力	三重大学	12月19日(月)	三重大学	会員1名、今年度参加青年1名、一般15名	16人	三重大学の国際交流週間のイベントの一つとして、事業の説明会を行った。また、三重大学在学中で愛知県から選出の今年度参加青年による帰国報告会も行った。	
青少年国際交流を考える集い(全国大会含む)	群馬青友会(群馬県IYEO)	1月14日(土)~15日(日)	伊香保公民館 伊香保温泉ホテル松本楼	会員1名	—	誰もが豊かな心を持って共に生きる地域社会をつくるために、力を合わせてできること~国際交流の体験をいかして~をテーマに、東日本大震災に際して発生した震災地を訪問し、被災者支援活動の現状を視察することで、個人あるいは組織で何ができるかを考える切掛けとした。	
その他(個人レベルでの活動)	—	2月17日(金)	岩手県陸前高田市	会員1名	—	—	

他団体の交流事業への参加、協力	紙園祭山鉾巡行曳き手ボランティア実行委員会	7月14日(木)～16日(土)	八幡山(京都市下京区新町三条下)ほか	会員6名、一般6名		6人	紙園祭の山鉾(今年は放下鉾を担当)を曳く貴重な体験のほか、女性参加者による岩戸山鉾での祇売り、山鉾巡行中の冷茶サービスも行われ、京都の伝統文化を享受する機会に恵まれた。	
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	受入実行委員会 (京都府IYEO、ISC、 KEPIYA 他)	2月14日(火)～ 2月19日(日)	京都府内	京都IYEO主催の歓迎レセプション (2/14)に多数	多数	多数	府内の他の国際交流団体と実行委員会を結成し、青年コーディネーター育成事業の受け入れを行った。歓迎レセプションは、京都IYEO主催。その他表敬訪問や企業訪問にも同行。	
その他(個人レベルでの活動等)	IYEO大阪	平成23年4月1日	酒井宅	2.1.(0)			会員知人より無償提供された子供服1000点を寄贈。推進センターへ送付	
その他(個人レベルでの活動等)	IYEO大阪	平成23年8月19日		2			大阪府青年国際交流機構より茨城・福島・宮城・岩手・青森各県IYEOにそれぞれ10万円、計50万円を支援金として送金	
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	関西国際交流団体協議会	平成24年2月4日(土) ～5日(日)	大阪国際交流センター	12名			関西で活躍する国際交流団体と一緒に集まり、それぞれの団体活動を紹介した。IYEOでは2日間(10日間)にわたるPRを実施、事業及び説明会のPRを行う	
独自の交流事業	大阪府IYEO	平成24年3月14日	Captain kangaroo 大阪市北区	5名:5名(5名)(予定)		5人	在阪外国青年複数名と歌、踊り、民族楽器等で音楽交流を実施し、各団の伝統音楽を紹介、演奏する。	
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	10月27日(木)～30日 (日)	神戸市内	会員13名 一般6名		6人	「東南アジア青年の船」の受入を、NPO法人神戸ユースネットと共同で実行委員会を立ち上げ、受入を行った。	
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	(財)神戸国際協力交流センター、 神戸国際交流フェア2012実行委 員会	3月11日(日)11:00～ 17:00	スペースシアター (JR神戸駅南)	未定			昨年は、中止になった第16回神戸国際交流フェアに、出展します	
他団体の交流事業への参加、 協力	シルクロード財団	5月28日	NIFS 会議室	25名			シルクロード財団に加盟している県内国際交流団体との情報交換会	
他団体の交流事業への参加、 協力他	なら橙花会実行委員会	8月10日	奈良公園一帯	5名			奈良の恒例行事である、なら橙花会でIYEOをPRするために当日運営スタッフとして参加した。	
内閣府青年国際交流事業の 地方プログラム受入	内閣府	10月27日～30日	奈良市	60名			平成22年東南アジア青年の船の地方受け入れプログラムを行った。	
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	10月27日～30日	奈良市	60名			平成22年東南アジア青年の船の地方受け入れプログラムを行った。	
他団体の交流事業への参加、 協力	シルクロード財団	3月3日	NIFS 会議室	25名			シルクロード財団に加盟している県内国際交流団体との情報交換会	
その他	和歌山県相撲協会	5月22日	和歌山県相撲場	約150名:8名、約140名(2名)		2人	138人	全国の実業団・大学生の相撲トーナメントに運営協力。
青少年国際交流を考えるつどい	東海ブロック大会実行委員会	6月25日・26日	三重県	会員3名				
その他	岩手IYEO	7月2日	京都 グストハウス山跡	会員1名				
独自の国際交流	海友会	7月3日	和歌山市 バグース	38名:9名、29名(12名)		12人	17人	地域の外国人と会員一般の交流のため開催した。予想以上にたくさん参加して盛り上がった。
独自の国際交流	海友会	7月26日～30日	韓国	日本からの参加者 11名:3名、8名			8人	韓国のユースキャンプに参加。初めて小学生を派遣した。色んな国からの参加者との交流があった。
他団体への交流事業への参加、 協力	紀州お祭りプロジェクト実行委員会	8月6日、7日	和歌山市 和歌山城	ダンスチームとして会員40名 実行委員・スタッフとして会員6名				「和歌山を元気に!」と地域活性化を図る祭り作りの実行委員やスタッフとして参加。またダンス・dance team演奏と和歌子舞も参加。
他団体への交流事業への参加、 協力	JAPAN SOCIETY 海友会	7月13日～15日	有田市	62名:4名、49名(9名)		9人	40人	有田市のついで海外青年受入事業。地域の学生たちとの交流、ホームステイ、歓迎会などを企画・運営。
その他	海友会	9月18日	和歌山ビッグ愛	28名:10名、18名			18人	会議の進行力を学ぶため、フアンデーター養成講座を開催。一般参加も募り、地域にも貢献。
青少年国際交流を考える集い	大会実行委員会	11月26日、27日	和歌山マリンシティ ロイヤルバインズホテル	260名				全国大会(近畿ブロック大会含む)を開催。基調講演、分科会、懇談会、報告会などを行い、親睦や学びの時間となった。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	1月20日～23日	和歌山県田辺市、 上富田町、白浜町	会員20名、 一般50名 (うち、23名)		27人	50人	世界青年の船事業地方プログラム受入で、ホームステイ、ディスカッションなどを行った。
独自の国際交流事業	海友会	1月28日、2月11日	和歌山市中央 コミュニティセンター	会員11名				和歌山オーストリア青年交流事業の2012年度受入準備のための会議開催。
内閣府青年国際交流事業の 地方プログラム受入	内閣府	7月15日～7月19日	鳥取市内	受入青年24名 スタッフ12名				エストニア、ドミニカの青年を受け入れた。鳥取県はホームステイが中心のプログラムであった。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	11月16日～11月20日	鳥取市内	受入青年27名 スタッフ12名				中国の青年を受け入れた。鳥取県はホームステイが中心のプログラムであった。
他団体の交流事業への 参加、協力	とっとり青友会	12月23日	倉吉市内	会員5名 一般30名 一般2名			30人	スポーツ少年団と共同で募金活動を行った。
独自の国際交流事業	とっとり青友会	12月23日～26日	グアム	会員10名 一般2名			2人	グアムにいるメンバーを訪ねてツアーを実施。歴史学習と現地の方との交流を楽しんだ。
独自の国際交流事業	国際ネットワークしまね	11月23日	松江ニューアーバン ホテル	会員10名、 一般40名			40人	国際ネットワークしまね設立10周年祭SEPA・グロチャレ記念事業としてセミナーを実施
青少年国際交流を考える集い	国際ネットワークしまね	12月17日～18日	松江ニューアーバン ホテル	会員10名、 一般40名				中国ブロック大会(講演会、ワークショップ、帰国報告会など)
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	国際ネットワークしまね	2月14日～19日	島根県内	多数	多数	多数	コーディネーター育成プログラム 障がい者分野の受入(現場視察、意見交換会など)	
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	岡山青年国際交流会	10月16日	岡山国際交流センター	10名				国際貢献パネル展示に参加し、内閣府青年国際交流事業の広報活動をした。
他団体の交流事業への 参加、協力	NPO法人 岡山県国際団体協議会	11月3日	岡山国際交流センター	4名				岡山県国際団体協議会の20周年記念事業として、国際団体会員、JICA、岡山県職員、大学生、他県のNGO、在住外国人が集い、基調講演、ワークショップ、討議等を行った。
内閣府青年国際交流事業 プログラム受入	岡山青年国際交流会	11月9日	岡山市立石井小学校	4名				岡山市立石井小学校のオープンスクールに参加すると共に、東南アジア青年の船事業受入の御礼を伝えた。
他団体の交流事業への 参加、協力	岡山大学	11月30日	メルパルク岡山	3名				留学生と地域国際交流支援、経済関係団体との意見交換会と歓迎懇親会に参加。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	財団法人 岡山県国際交流協会	2月23日～29日	岡山国際交流センター					岡山県内12の国際団体が参加するパネル展に参加。内閣府青年国際交流事業の紹介や、3月の事業説明会・帰国報告会の日程、また昨年までの受入時の写真を展示。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	岡山青年国際交流会	平成24年 2月29日	岡山市役所					岡山県内13の国際団体が参加するパネル展に参加。内閣府青年国際交流事業の紹介や、3月の事業説明会・帰国報告会の日程、また昨年までの受入時の写真を展示。
内閣府青年国際交流事業の 地方プログラム受入 内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報活動	広島県IYEO	7月11日～15日	広島県内各地	15名				「国際青年国際交流」地方プログラムのスタッフとして参加した。当日は広島県IYEOメンバーだけではなく、広島県内の大学生にもボランティア参加を呼びかけ、様々な場面で協力してもらった。これにより、広島県内の大学生に対し内閣府青年国際交流事業をPRすることが出来た。
他団体へ交流事業の参加、協 力	広島県庁	7月25日～8月3日	広島県内各地	1名				広島県主催の「国際交流コース in HIROSHIMA」に広島県IYEOを代表して会長が実行委員をしており、事前の会議、実際のプログラムなどへ参加し、地元自治体である広島県庁、地域の青少年団体などと一緒に活動してネットワークを広げることが出来た。
独自の国際交流事業	柳井国際交流機構 (山口IYEO柳井支部)	7月28日～8月1日	柳井市	100名(7名)		7人	93人	ホームステイ、企業見学、高校訪問、体験学習、交流会など、日韓親善協会、ロータリークラブの協力を得て行なった。
独自の国際交流事業	アジアカレッジ実行委員会	11月3日(木)～9日 (水)	韓国	20名				独自事業として「慶南青年カレッジ」招聘と訪韓。

独自の国際交流事業	山口県	11月16日(水)	田布施町	会員1名 生徒60名		60人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。	
独自の国際交流事業	山口県	11月21日(月)	山口市	会員2名 児童294名		294人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。	
独自の国際交流事業	山口県	11月22日(火)	山口市	会員1名 生徒150名		150人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。	
他団体の交流事業への参加、協力	小松島市	平成23年7月17日(日) 16:30~	小松島市長だめき公園	会員2名 一般 約700名(うち外国人約50名)		50人	小松島市の夏の最大イベント「港まつり」の中で、「外国人阿波おどりコンテスト」開催のスタッフとして、コンテストの円滑な運営の手伝いをした。	
青少年国際交流を考える集い	徳島県IYEO	平成23年8月6日(土)~ 7日(日)	とくぎんトモプラザ アグネスホテル グランドパ レス	会員52名、内閣府1名、推進センター1 名、県担当1名、一般16名(うち外国 人2名)		2人	14人	平成23年度四国ブロック青少年国際交流を考える集いを開催した。
内閣府青年国際交流事業の 地方プログラム受入れ	徳島県IYEO	平成23年9月4日(日) 16:00~19:00	パークウェストン	会員 2名			実行委員会立ち上げの準備、全体のスケジュールの流れを協議した。	
内閣府青年国際交流事業の 地方プログラム受入れ	徳島県IYEO	平成23年9月12日(月) 19:00~21:00	御所小放課後学童クラブ	会員 10名			ホストファミリー募集案内文の発送、現時点で決まっているこの報告、スケ ジュールの検討などを行った。	
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	徳島県IYEO	平成23年 1月20日(金)~ 24日(月)	県内各地	会員13名、県担当2名、通訳2名、 地元青年12名		12人	平成23年度世界青年の船事業地方プログラム受け入れを行った。	
独自の国際交流事業	徳島県IYEO	平成23年 1月29日(日)	鳴門市	会員12名、県外会員3名、一般21 名、外国人6名		6人	21人	在県外国人との親睦を目的として、牡蠣焼きパーティーを開催した。
他団体の交流事業への 参加、協力	青年団体連絡協議会	平成24年2月17日(金) 18:30~21:00	とくぎんトモプラザ	会員1名 青団連員数名				青年団体連絡協議会の役員会に参加した。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報	徳島県IYEO	平成24年 2月26日(日) 18:00~17:00	とくぎんトモプラザ	会員5名 一般参加者多数		多数		「平成24年度内閣府青年国際交流事業」に募集説明会のPRのため の内閣府青年国際交流事業パネル展を開催(予定)
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報活動	愛媛県国際交流協会	11月27日	愛媛国際交流センター	会員5名 一般参加者多数		多数		愛媛県内で活動している国際交流・協力に関する団体の活動紹介や展示・ ステージパフォーマンスが行われるまじに参加し、事業の広報を行う。
他団体の交流事業への 参加、協力	愛媛県国際交流協会	11月27日	愛媛県国際交流セン ター	会員6名、 来場者数多数		多数		愛媛県で年に一度行われる国際交流のイベントである。学生から社 会人まで幅広い世代に、事業のPRを行った。
その他	高知県IYEO	平成23年4月1日	高知県内					東日本大震災への募金活動を行い、IYEO本部に送るとともに、若手県に停 泊中のふじ丸に中国からの支援物資を送った。
その他	高知県IYEO	平成23年4月1日	高知県内					ザンビアの女性に支援を行っている会員を通じて、現地から布製、バッグ を作成して得た売り上げを募金として福島県のNGOに送った。
独自の国際交流事業	福岡県青年国際交流機構	平成24年 2月25日(土)	福岡市青年センター	会員・一般計20名 (予定)		20人(予 定)		九州大学に留学している東南アジア青年の船参加青年I.E.E.S.さんを 講師にフランス料理教室を行う。その後、I.E.E.S.さんとその友人にフオスの 文化紹介なども行う。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報活動	佐賀県IYEO	H23年8月14日	アバンセ	会員10名/一般(海外使節団)7名 /一般90名		97人		アバンセが活動資金により、佐賀県の高校生・大学生・社会人による 海外派遣プログラム福岡報告会を開催し、公的海外派遣事業の意義を考 え、内閣府事業への関心を高めた。
他団体へ交流事業の 参加、協力	佐賀県青年国際交流協会	H23年9月19日	アバンセ	会員8名/一般2名		2人		内閣府事業「パネル展示・広報、スタンパリーへの協力など
第38回東南アジア青年の船 事業地方プログラム 実施	内閣府	10月27日~30日	佐賀市、県内全域	会員8名、一般5名(実行委員)、一 般30名(ホストファミリー)、県担当2 名		35人		SSEAYP38佐賀県プログラム 1日目オリエンテーション 2日目、副 知事訪問、NHK佐賀放送局見学、佐賀城、佐賀レトロ館、佐賀商 業高等学校、レセプション、ホームステイ 3日目ホームステイ 4日 目フェアウェルパーティー
その他	熊本県青年国際交流機構	6月29日(土)	熊本市国際交流会館	会員 9名				九州各県IYEO会長が一同に会し、各県IYEOの現状や問題、そして、 IYEO九州ブロック大会への協力等について話し合いの場を持った。
青少年国際交流を考える集い	熊本県青少年国際交流機構	平成23年8月6日(土)~ 7日(日)	チサンホテル熊本	会員及び関係者 62名、一般 4名		4人		「国際交流絆絆 全線開通~心のレールを世界へ繋ぐ!」をテーマ に、基調講演「災害ボランティア絆・JAPAN」、3つの分科会実施。①音楽 でコミュニケーション~心と心を繋ぐ新たなツール②人・地域を繋ぐ鉄道「新幹 線」に学ぶネットワーキング③築き上げよう、人・物・世界~フェアトレードをより 身近に~2日目に、帰国報告会、地域理解研修として本丸御膳と熊本城ワ ークshopを行った。また、2日間にかけて、東日本大震災チャリティイベントとして 参加者及び他県会員からの協力のもと物産展を開催。
他事業の交流事業への参加	(財)大分県文化スポーツ振興財団	7月1日	iichiko総合文化センター	1人(1人)				大分県内における国際交流についての話し合い
他団体の交流事業への 参加、協力	大分県海外青年協力隊	10月23日	大分市幸崎海岸	2人(0人)				幸崎海岸は亀の産卵地です。その海岸をもっと多くの亀が産卵に戻っ てくように海岸のこみ拾いと清掃をした。その後他の方との親睦の 絆つき大会をした。
他団体へ交流事業の 参加、協力	(財)大分県文化スポーツ 振興財団	11月23日	iichiko総合文化セン ター	5人(1人)				国際交流・国際協力・多文化共生に関わる県内の団体がそれぞれの 活動を紹介し、情報を提供した。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	11/11~14	大分全日空ホテル	42名(30名)				韓国青年のホームステイをした。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	内閣府	2/14~19	大分第一ホテル	50名(13名)		37人		高齢者コースプログラム、1. 地方行政における認知症対策 2. 施設 での認知症高齢者への介護の在り方について 3. 地域内の連帯による 家庭への支援が主な議題。
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成23年5月21日(土) 17:00-18:00	鳥の里	会員 8名、県文化文教・国際課 1名 ゲスト(ドイツ) 1名、ボランティア 1名		1人	1人	ドイツのサンジャさんをお招きして講演会を行った。ドイツについての理解を深 めた。旧ドイツの村が「旅」の「意見」の自由を求めてデモを起こし、そ の結果、壁が壊れた、ということを知り驚いた。
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成23年5月21日(土) 18:00-20:00	鳥の里	会員 6名 県文化文教・国際課 1名 ゲスト(ドイツ) 1名 ボランティア 1名		1人	1人	東北地方の大震災により、多くの人が被災した。サンジャさんはドイツ人として は、人間として人々の役に立ちたい、と思ったので、東北地方でのボラン ティアに参加した。サンジャさんから「東北地方は大変な状況にあつたが、全国 各地からボランティアが駆けつけていた」という話を聞いて、自分たちとして できることはないか、話し合った。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	宮崎県青年国際交流機構	10月27日(木)~ 10月30日(日)	宮崎県庁、 宮崎公立大学、 本脇中学校他	東南アジア青年の船参加青年 29 名、ナショナルリーダー 1名、引率 者 4名、会員 10名、県文化文教・ 国際課 3名				平成23年度東南アジア青年の船Hグループの受け入れを行った。本 脇中学校で、生徒による太鼓等の発表、日本の遊びの紹介、外国 青年によるパフォーマンスなどを行い、異文化理解を深めた。公立大 学で、学生との意見交換を行い、相互理解に努めるとともにグローバル セッションについて一緒に考えた。ホームステイにより、宮崎県民との交 流を深めた。
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成24年3月17日 (土)14:00~15:00	宮崎市民プラザ	会員10名、県文化文教・国際 課 1名、一般 5名		5人		・平成23年度東南アジア青年の船の参加者が体験を発表 ・同じアジアでも異なる文化がある一方で、共通点も多いこと、また、 青年たちとの交流を通して、相互理解の大切さがわかったことなどを 発表
その他	沖縄県IYEO	7月3日	玉城晴奈 勤務先	会員9名				熊本での会長会議の報告を行った。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報活動	熊本県IYEO	8月6日~7日	チサンホテル	会員1名				会員1名が参加、九州ブロック大会における事後活動に関する情報交換およ び他県交流と、次年度沖縄大会のPR活動を行った。
社行会、その他	沖縄県IYEO	9月11日	てんぶす	会員13名、一般2名				航空機派遣も東南アジア青年の船の参加者に対する社行会を行った。また その後、地方プログラム受入に関する打ち合わせと、九州ブロック大会の報 告、役員研修の報告を行った。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	青少年国際交流推進 センター	11月25日~26日	和歌山ロイヤルバインズ ホテル	会員1名				沖縄県IYEOの活動報告を全国代表者へ連絡するとともに、他府県との 交流および情報交換を通じて、さらなる青年育成と、活動推進を目 指す。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	和歌山県IYEO	11月26日~27日	和歌山ロイヤルバインズ ホテル	会員6名、一般1名(事業参加予定 者)		1人		全国大会に参加した沖縄県IYEO会員が、来年度に沖縄県で開催さ れる全国大会のPR活動を実施。また、他の都道府県より参加した IYEO会員との親睦を深めた。
その他	沖縄県IYEO	1月7日	ている	会員6名、県担当1名、一般21名 (ローカルユース)		21人		第24回世界青年の船地方プログラムのディスカッション交流会に参加 するローカルユース(地元青年)に対し、沖縄県庁担当者及び沖縄県 IYEOより当日のスケジュール、ディスカッションの進め方、その他留意事 項について説明を行い、簡単な模擬ディスカッションを実施した。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	沖縄県	1月20~23日	沖縄県庁舎、 かりゆしアーバンパ ナホテル、那覇西高等 学校	会員16名、一般33名(うち外国人5 名)、県担当2名、OPY22名、管理 部3名		5人	28人	第24回世界青年の船地方プログラムで、インドペールの青年22名を 受け入れた。沖縄県と世田福知事表敬訪問、歓迎レセプション、ホ ストファミリー体験及びディスカッション交流会を実施し、表敬訪問で 地元メディアの取材を受け、その様子が地元紙に掲載された。ディ スカッション交流会では県内在住の外国人を講師に招き、OPY、ロ カルユース、地元在住外国人との多角的な国際交流を行うことができた。
内閣府青年国際交流事業 地方プログラム受入	沖縄県	3月2日 (予定)	那覇新港	会員15名、世界青年の船PY、一 般(ホストファミリー)、県関係者				第24回世界青年の船沖繩寄港時の沖縄県主催歓迎レセプションに 協力し、司会進行や沖縄紹介を担当した。また、ホストファミリーを招 き、オープンシップや懇談会を通して会員、一般、PY相互の交流を 図った。
内閣府青年国際交流事業 及びIYEOの広報 活動	青少年国際交流推進 センター	3月3日~4日 (予定)	オリンピックセンター	会員1名				沖縄県IYEOの活動報告を全国代表者へ連絡するとともに、他府県との 交流および情報交換を通じて、さらなる青年育成と、活動推進を目 指す。

269人 6,051人

この他に、毎年、全国大会やブロック大会に会員及び一般の方が参加している。
(会員：720名程度、一般：450名程度、詳細は確認中)